

とこなめ市議会だより

NO. 163

令和4年2月1日 編集 / 発行 常滑市議会

〒479-8610 愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の5
TEL : 0569-47-6128 (直通)
E-mail : gikaigiji@city.tokoname.lg.jp



新庁舎議場 令和4年から新しい議場での議会が始まります。

〈目次〉

市政を問う(一般質問)	P2 ~ P6
中学生と語る会、 中部国際空港関連事業調査特別委員会活動報告	P7
定例会、協議会報告	P8



常滑市議会に関する定例会、委員会、協議会及び議長公務等の情報を中心に発信しています。



左記のQRコードから市議会HP及びフェイスブックに簡単にアクセスできます。

 一般質問録画映像
配信中



無料アプリ「マチイロ」を使って、「市議会だより」をスマートフォンやタブレット端末に配信しています。

一般質問（市政を問う）

議員名の横または下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 高齢者への新型コロナワクチン接種の予約支援は

答 75歳以上は、はがきによる接種日時・場所の予約も可能



加藤代史子
議員



問 新型コロナワクチン接種について

問 1回目、2回目の接種状況と、その問題や課題は何か。

答 1回目接種は4万5,520人、87%。2回目は4万4,614人85.3%。未接種の方は個別接種を実施中。課題は予約体制とワクチン供給不足があげられる。

問 3回目接種の実施体制は。

答 集団接種は新庁舎、個別接種は22の医療機関。予約はフリーダイヤルでのコールセンターで、対応能力を10倍に強化する。ウェブ予約支援も常設実施。75歳以上には、はがきにより市で接種の日時や場所を指定する方法も実施する。

問 障がい者への配慮はどうか。

答 当事者団体から何が必要か聞き取りし、配慮する。

問 子宮頸がん予防（HPV）ワクチン接種について

問 本市の接種状況はどうか。

問 常滑市公式LINEのフォロワー数は

答 フォロワー数は8,050人（令和3年12月5日現在）



大川 秀徳
議員



問 本市が目指すDXについて

問 「窓口手続・申請手続の簡素化」「キャッシュレス決済の推進」の今後の具体的な取組は。

答 窓口・申請手続の簡素化となる異動受付支援システムと市民窓口課・税務課の窓口における手数料のキャッシュレス決済機を導入する。

問 「マイナンバーカードの普及・活用」の今後の具体的な取組は。

答 時間外休日受付やイオンモール常滑での出張申請受付等により交付率増加に努めている。より円滑な申請手続きができるように新市庁舎には特設ブースを設置する。

問 「行政手続きのオンライン化」の今後の具体的な取組は。

答 現在策定中の「デジタル化推進プラン」の中で検討中である。

問 クルーズ船誘致について

問 実施したおもてなしの内容は。

答 初寄港日が緊急事態宣言下であったため、県や関係者と相談し最小限の体制で行った。具体的には、歓迎セレモニーでの記念品の贈呈・歓迎横断幕や特産品の販売ブースを設置した。

問 クルーズ船誘致の今後の展望は。

答 継続した日本船の寄港及び外国船の初寄港を目指す。海上空港が立地する本市の特性を活かしたフライ&クルーズの実現を目指すため、引き続き県と連携して誘致活動を行っていく。



導入予定のキャッシュレス決済機

問 自治体マイナポイントと地域通貨について

問 自治体マイナポイントの考えはどうか。

答 全国でモデル事業を検証中であり、現時点では実施の考えはないが、今後、調査研究する。

問 自治体マイナポイントを地域通貨で活用する考えは。

答 地域内消費の利点がある反面、システム改修費、維持管理業務負担等あり、考えはない。



問 過去5年間の町内会加入率の推移は

答 5年間で4.1%減少している



伊藤 直
議員



町内会の加入率低下について

問 町内会加入率が低い要因はどこにあると分析しているか。また、町内会加入促進の告知はどのようにしているのか。

答 町内会の加入率は最近の5年間で4.1%減少した。新興住宅地や単身者向けの集合住宅、外国人世帯などの加入率が特に低い。転入者に加算の案内をするとともに、近年増加している外国人住民には、町内会の趣旨、重要性を正しく理解してもらうため、加入促進チラシの多言語語化の準備を進めている。

問 大規模災害時には、町内会の役割が重要となっていくと思うが市の考え方は。

答 町内会の大きな役割として、今後、発生が懸念される南海トラフ地震等大規模災害時には、市や防災関係組織以上に、隣近所など地域の方々との助け合いが重要であり、「いざ」というときに外国人住民を含めたすべての市民の方が取り残されることのないよう、町内会加入を通じて、ご近所とのつながりを持っていただければと考えている。

問 市民の安心のため、夜間救急体制の復活を

答 復活できるよう医師確保に今後も努力する



加藤 久豊
議員



常滑市民病院の現状と課題について

問 病院事業の現在の状況は。

答 医業収益は落ち込んでいるが、新型コロナウイルス感染症病床確保による国県補助金で、令和3年度の経常損益は黒字見込みである。

問 婦人科治療センターの進捗及び医師確保は。

答 建設工事は順調。医師は今年度から常勤医師1名増。令和4年4月からもう1名増え、合計3名体制の予定。

問 夜間救急停止による課題は。ぜひ24時間受け入れを願う。

答 大きな課題と認識している。中途半端に再開しても迷惑をかけてしまう。医師不足は深刻だが、しっかりと体制で復活できるよう努力していく。

問 半田市立半田病院との統合の動きはどうか。

答 令和4年4月に常滑市と半田市で準備室を立ち上げる。3名の職員を派遣し統合に向けた準備を進めていく。

問 新型コロナウイルス感染者を前線で受け入れてきた病院として感染防止を訴えたらどうか。

答 正しいマスクの着用や手指消毒、3密回避など感染させないよう病院として正式にコメントする。

問 稲作農家に補助金を

答 収入保険制度の保険料を補助する



坂本 直幸
議員



個人稲作農業経営者への支援について

問 他産地では、稲作農家に「ヘクタール当たり」等に対して補助金を出している市町村があるが、本市ではどうか。

答 米価は値下がりが続ぎ、稲作が盛んな東北地方、茨城県、新潟県などの一部の自治体では、市独自で作付面積に応じた助成をしている。本市では多くの農家が利用できる収入保険制度の1年分の保険料補助を実施することとした。

問 市内の農家は、高齢化が進んでおり将来的には担い手不足で、水田の荒廃化が懸念される。土地改良事業などで整備された農地であれば、耕作しやすく次の担い手も見つけやすいが、荒廃地や遊休農地では、担い手が見つかりにくい。対策はどうか。

答 本市では、JAあいち知多及び愛知県とで組織する「アグリ常滑宮農支援機構」が、農地の利用調整をしており、作付けをやめる水田があった際には、新たな担い手との引き合わせに取り組んでいる。また、荒廃地や遊休農地を再生する取組として、今年度から「アグリ常滑宮農支援機構」が「耕作放棄地再生事業」を新設した。

一般質問（市政を問う）

議員名の横または下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

収入増加策の今後の計画や取組は

答 来年度「魅力創造室」を設置、体制を整える



中村 崇春
議員



財政について

問 国や県の補助金や交付金の新規事業への活用状況は。

答 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、「こどもスマイル応援事業」「とこめし応援事業」などのコロナ対策事業を実施した。

問 収入増加策での実績と今後の取組を問う。

答 実績は「りんくうビーチ」指定管理者からの納付金や広報とこなめなどの広告掲載料、未利用市有地の売却など。今後の取組は、来年度から「魅力創造室」を設置し、シティプロモーションやふるさと納税強化の体制を整え、安全・安心・成長の魅力あるまちづくりを目指す。

市民協働について

問 今後の市民協働推進のための新しい方針や施策は。

答 第6次総合計画の基本計画で「協働によるまちづくり」、「市民参画の推進」を定める。具体的には、公開講座の開催や情報交換の場の設定、市職員の研修を実施する。また、積極的にチャレンジする市民団体への支援強化など、地域活動しやすい環境づくりを進める。

新学校給食共同調理場の廃棄物処理について

問 調理場運営にゼロカーボンの考えを取り入れたか。また、実行するための対策を問う。

答 基本計画の整備方針で省エネ・環境への配慮としてゼロカーボンを目指した考えを取り入れた。また、具体的には、自然エネルギーの利用、廃棄物少量化対策で、新たに残菜庫を設けることである。また、民間事業者の創意工夫を期待している。



新学校給食共同調理場建設予定地

令和4年度病院事業の現金枯渇の心配はないか

答 現金残高は約15億円となるため枯渇しない



井上 恭子
議員



市民病院の経営状況を明確にし、的確な病院運営を

問 令和2年度は年間18億円もの大金を支出している。その原因を問う。

答 コロナに対応するため、病院の改修、必要な機材の購入によるもの。

問 経営悪化はコロナ前からである。人件費の増加（人件費比率73%）、入院、外来の患者数の減少（病床利用率64%）で、経費すら払えず資金が枯渇した状況ではなかったか。今後の再建策を問う。

答 コロナがなくても運営ができればように一病棟を回復期にした。医師が少なくてすむため患者が増える。

問 令和7年4月、半田市立半田病院との経営統合までに、病院が必要とする現金預金は幾らか。

答 6億円を維持することが必要。

問 令和3年度末現金残高はコロナ補助金7億円含め14億円である。令和2年度18億円支出をしている状況から見て、今後の経営は困難だと思う。その時責任をどう考えるか。

早急な空き家対策を

答 現時点では収支は良好である。現金残高は15億円、経常黒字2億円の増。今はコロナ撲滅を考えなくてはならない。全力で対応する。

早急な空き家対策を

問 本市の空き家対策は平成30年から着手している。常滑市は家賃が安く自然が豊富で空港にも近い。愛知県だけでなく、海外の人も対象にした対策を、よりスピーディーに行なうかどうか。

答 空家利活用の周知・啓発は広報とこなめやホームページ、固定資産税納税通知へのチラシにより、相談窓口の案内や空家バンク開設の案内をしてきた、今後は市の公式ラインなどSNSも活用していく。

各人の自己実現のための教育を

問 子どもたちの権利をどう実現していくかを学ぶ授業を増やしてもらいたい。そのために教育費の増額を。

答 今後も引き続き、子どもたちの権利を学ぶ機会を設けていきたい。また、教育費の増額を要望していきたい。

問 「常滑市観光大学」開学を

答 観光を盛り上げる手法を今後検討



渡邊 十三香
議員



常滑市の観光を支える施策について

問 本市は、アフターコロナを見据え、「常滑市観光戦略プラン2022」を策定中である。

中学生英語検定受験料助成金を設けてはどうか。未来の空港ボランティアを育てる取組として、

国際空港を生かした子どもたちの交流促進や世界で活躍できる人材の育成は極めて重要。英語検定の助成が必要か今後、調査研究したい。

まちづくり事業費補助事業に新たに「学生版」を設けてはどうか。

答 現行の事業の見直し必要性は認識している。使いやすい制度となるよう検討を進める。

問 市民対象の講座を開き「常滑市観光ナビゲーター」を養成してはどうか。

答 ご当地検定や観光講座、市民向けのモニターツアー等の取組は必要と考えている。先進的な事例を調査・研究していく。

問 令和4年に開催される国際芸術祭のボランティアに市独自で小中学生を参加させては。

答 将来の常滑市や観光について考える意味のある取組。単発で短期間で終わることなく、複数年にわたる継続的な取組になるものにするにはどうしたらよいか教育委員会として検討。

問 散歩道内の道路橋梁の景観保全への配慮は

答 景観に配慮した補修を検討する



成田 勝之
議員



やきもの散歩道エリア内における道路などの景観保全について

問 やきもの散歩道エリアは景観保全地区になっている。土管坂休憩所下の道路は道幅の半分

に土管(ケサワ)が埋められている。この道は龍田家前の道と土管坂とを結ぶ場所であり、連続性を持たせ、景観を高める補修が必要ではないか。

答 道路構造上、厚みが足りない部分がケサワを埋められずコンクリートになっている。担当課と連携し、景観に配慮した補修を検討する。

問 北山橋の色は、現在の緑色から景観に配慮した色に変更してはどうか。

答 橋梁上部は「じこにゃん」を見るために一番良い場所であり、橋梁下部は招き道路から見上げる部分となる。橋梁長寿命化修繕計画に合わせ景観に配慮した補修を検討する。

問 景観保全助成制度の実績は。

答 煙突9件、店舗25軒、自己所有27件。



土管坂休憩所下の道路

問 遊具が撤去され少ないが

答 補充は考えていない



盛田 克己
議員



公園やグラウンドの問題について

問 公園の維持管理はどうしているか。

答 草刈り剪定、トイレ清掃は区やコミュニティ、シルバーに年間2回以上作業委託。グラウンドは使用団体が提供した砂を補充。水はけ対策は長寿命化計画で対応。

問 危険な遊具の管理と基準は。

答 所管課で管理。年1回専門業者による安全点検を実施し、国の判定基準Dは即撤去する。

問 スポーツ振興は街の活性化に寄与するが市内には広いグラウンドが少なく、民家や道路への飛球が発生している。防球ネット設置はどうか。

答 防球ネット設置は費用面で難しい。代替のグラウンドとして整備中の大曾公園や学校のグラウンドの解放などを検討したい。

問 公園が整備されることで、街の魅力が向上する。所管課で管理しているが、効率などを考えて一括管理する部署の創設はどうか。

答 組織変更を要すが検討の余地はある。

一般質問（市政を問う）

議員名の横または下にある QR コードを読み取ると、各議員の質問映像を YouTube でご覧いただけます。

問 本市の海は国の水質環境基準をクリアしているか

答 6種類の水質検査結果はすべて基準内である



相羽 助宣 議員



水辺空間の現状について

問 本市海域の水質の現状はどうか。
 答 水質汚濁防止法に基づき県が毎月実施している。COD・全窒素・全りん・全亜鉛・ノニルフェノール・LAS6種類全て基準内である。

問 海岸のごみ等の現状はどうか。
 答 日常的なごみ等については、アダプトプログラムを始めとしたボランティアの方々に清掃していただいている。

問 海岸環境整備の現状について。
 答 親水性を目的とした整備事業は大野海岸は整備が終了し、坂井海岸は県による整備が進められている。

問 護岸整備の現状についてはどうか。
 答 整備は完了している。維持管理としての海岸長寿命化計画に基づく点検は、職員の日視による年1回の日常点検と、5年ごとに業者に委託する詳細点検を実施している。

問 地域公共交通会議のメンバーに多くの市民参加を

答 柔軟に対応し、決定していく



西本 真樹 議員



公共交通の今後について

問 国による公的支援を設けることが必要と考えるため、市独自の購入補助を行う予定はない。

問 第6波に備えて、コロナ患者が把握できるよう対応すべきでは。

問 新型コロナウイルス「第6波」を起さない対策と備えについて

問 コロナワクチン接種と同時に、大規模な検査体制をとるべきでは。

問 市が主体で大規模検査を実施する予定はない。

問 高齢者の必需品といえる補聴器購入の支援をすべきでは。

問 市独自の事業者支援は、事業者が現況を聞き効果が出るようにしてきた。今後も事業者の動向、国・県などの状況を注視し、支援策を実施する。

問 必要と判断する市民においても、柔軟に対応するよう調整し決定する。



問 北部バスのルート変更がされたが、市民の意見はどのように反映されたのか。
 答 市民からの電話や文書等の要望や地元区長と相談し変更した。

問 路線バス運賃助成について、来年度以降も継続を求めるがどうか。
 答 コロナ禍で実態二入が反映されないことや地域公共交通計画にデータを反映させたいことから引き続き必要と考える。

問 2020年度以降行われる地域公共交通会議にバス利用者、交通機関を利用出来ない市民、住民バス運営者等の参加が望ましいと考えるがどうか。
 答 必要と判断する市民においても、柔軟に対応するよう調整し決定する。

南陵中学校3年生と語る会を開きました（令和3年10月27日）

今回の「語る会」は、コロナ禍という事もあり、3密を避けるために前半・後半の2部制で行いました。

前半は、校内にあるICTルームから3年生の3クラスに向けて、教室に設置された電子黒板を通して配信しました。

まずは、議長、副議長それぞれに、自己紹介を兼ねて、事前にいただいた質問に答えました。

その後、広報広聴委員長より地方自治についての簡単な説明をしました。

後半では、担当の生徒による進行で、各クラス、それぞれ広報広聴委員を含めた3人の議員との話し合いが行われました。

事前質問やアンケートから抽出したものに議員が答えたり、生徒からの要望が出る場面もありました。

後日届いた感想では、「常滑市をより良い市にするために私も頑張りたい」「今後は常滑市のために積極的にボランティア活動等に参加したい」「等の常滑市のことを考えて行動しようとする」コメントが多数ありました。



青海中学校3年生と語る会を開きました（令和3年12月1日）



青海中学校の3年生に向けて、中学生と語る会を行いました。正副議長・広報広聴委員長のあいさつ後、あらかじめ出して頂いた質問・意見に答えていきました。「中心部だけでなく北部・南部の開発を進めてほしいがその予定は」「駅や（バス）路線を増やすことは可能か」「常滑の海が汚いのはなぜか」「街灯を設置することは可能か」「通学路が雑草で覆われて刈ってほしい」「新しい図書館の建設予定は」と、まちづくりや身近な問題を織り交ぜながらの質問で、市の政策や計画などを紹介しつつ、時には生徒にどうすれば解決できるかを問いながら回答しました。その後、自由に質問をしてもらい「成績を5教科に」「学校の水道からお湯が出るように」「図書室の本の種類を増やせないか」と学校のことから、常滑駅前が寂しい」「西知多道路を作っても人口が少ない所に入出口を作ってももったいないのでは」など、まちづくりについてもさらに言及がありました。授業を通して市政や学校生活について、関心を持っていることが判りました。

中部国際空港関連 事業調査特別委員 会活動報告 （令和3年11月15日）

名古屋港視察

今回の主たる目的は、ポートアイランドに仮置きしたしゅんせつ土砂の現状と中部国際空港埋立に関する調査です。

2014年11月にも同様の研修が行われましたので、実に7年ぶりの視察となりました。



ポートアイランドへ処分しているしゅんせつ土砂の区域

（注）暫定供用・継続工事区域含む。

令和3年 第4回市議会定例会審議結果

(12月7日～12月21日開催)

審議結果については、いずれも原案どおり可決、同意されました。

議案名	議員名	会派名															
		香	笑	共	公	あ	政	新	大	中	都	稲	相	伊	加	川	伊
		渡	伊	西	加	成	政	新	大	中	都	稲	相	伊	加	川	伊
		邊	藤	本	藤	田	盛	風	川	村	都	稲	相	伊	加	川	伊
		十	直	真	代	勝	田	井	大	中	都	稲	相	伊	加	川	伊
		三	直	樹	史	之	克	上	川	村	都	稲	相	伊	加	川	伊
		香	直	樹	史	之	克	上	川	村	都	稲	相	伊	加	川	伊
		直	直	樹	史	之	克	上	川	村	都	稲	相	伊	加	川	伊
議案第50号	令和3年度常滑市一般会計補正予算(第5号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和3年度常滑市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	令和3年度常滑市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	令和3年度常滑市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	令和3年度常滑市常滑駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	令和3年度常滑市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	令和3年度常滑市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	令和3年度常滑市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	令和3年度常滑市病院事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	常滑市役所の位置を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	常滑市公告式条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	常滑市陶芸陶芸振興事業基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	常滑市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	常滑市農村公園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	常滑市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	常滑市国民健康保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	知多都市計画事業常滑駅周辺土地区画整理事業施行条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	常滑市モーターボート競走関係施設整備事業基金条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	常滑市モーターボート競走事業財政調整基金条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	知多南部広域環境組合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和3年度常滑市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意案第6号	常滑市教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第3号	常滑市議会会議規則の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第4号	常滑市議会委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません。

会派名の略 香…新香会、笑…笑進会、共…日本共産党議員団、公…公明党議員団、あ…新政あいちとこなめ、政…新政会、新風…新風クラブ

市議会協議会

市政に関する重要な問題を全員で調査研究し、市政運営の円滑な推進を図るため、市議会協議会を開催しました。10月、11月、12月の開催状況と提出された主な案件は次のとおりです。

第9回協議会
(10月26日開催)

- 庁舎移転に伴う北部バス運行経路変更について
- 常滑市中部地域包括支援センターの新設及び運営事業者の選定について

第10回協議会
(11月24日開催)

- 新型コロナウイルスワクチン接種の実施報告及び3回目の接種について
- 高齢者移動手段確保、助成事業の実績について
- 大野海水浴場に隣接する市有地の今後の活用について
- 農業経営収入保険制度に係る保険料の補助について

第11回協議会
(12月21日開催)

- 常滑市観光戦略プラン2022(素案)
- 常滑市汚水適正処理構想(令和3年度)(案)

令和4年第1回市議会定例会会期日程(案)

3月2日(水)
開会、施政方針・代表質問・議案上程・説明

3月8日(火)
9日(水)
一般質問

3月10日(木)
議案質疑、委員会付託(補正予算、予算委員会(補正予算))

3月11日(金)
予算委員長報告、質疑、討論、採決(補正予算)、議案質疑、委員会付託

3月14日(月)
経済建設委員会

3月15日(火)
文教厚生委員会

3月16日(水)
総務委員会

3月17日(木)
22日(火)
予算委員会

3月24日(木)
委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

代表・一般質問等の模様は3月2日(水)・8日(火)・9日(水)の午前9時30分から(録画放送は午後7時から)ケーブルテレビ(CCN)で放送予定(再放送は3月13日(日)午前9時から)